

## 5年後に向けて準備すること

山口県平生町立平生中学校 1年 森口 和奏



令和4年4月から、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられた。その理由としては、18、19歳の若者の自己決定を尊重するものであり、その積極的な社会参加を促すことにあるそうだ。世界的にも今、成人年齢を18歳とするのは主流と知り、驚いた。

私の兄は高校3年生で、今年の5月で18歳になった。とても「大人」になったようには見えない。だが、選挙には関心をもっている。実際に、7月に行われた参議院選挙には、母と一緒に投票に行った。母は、「これからは、親の同意がなくても自分の意思でいろいろな契約ができるようになるのよ。しっかりしてね。」と不安そうに、兄に言っていた。

私は今、中学1年生。当然ではあるが、大人としての責任感はない。でも、子どもとしての責任感はあるつもりである。大人は、中学生のことをまだ子どもというけれど私は、半分子どもで、半分大人じゃないかなと思う。なぜなら、私はもう5年後には成人して、大人の世界に入るからだ。今は、半分半分だけど、この5年間に少しずついろいろな経験をしながら、大人になる準備をしたい。

### 準備その1「社会のルールを守ること」

社会には、みんなが安心して幸せに暮らすために、守らないといけないルールがたくさんある。これまで、学校の道徳の時間でも学習してきた。公共物を大切にすること。自分勝手にしないで、まわりの人に思いやりをもって生活すること。交通ルールを守ることなど。

残念なことに、私の家の近くのバイパスを大きなエンジン音を響かせて暴走するバイクがいる。300メートル離れている私の家にもうるさいなと思うのに、バイパスの近くに住む人はもっと迷惑だと思う。騒音を出すバイクに乗っている人は自分の出す音によって、耳をふさいだり、寝付けないなど、嫌な思いをしている人がいることを想像する力をもってほしいと思う。「社会のルールを守る」ことは、想像する力をもつことではないかと思う。私は、これからは想像力をきたえて、「社会のルール」を守れる大人になりたい。

### 準備その2「感謝の気持ちを忘れないこと」

私は、小学生の頃からお茶の作法を習っている。近所のおばあさんが先生だ。お茶を通して学んだことは、相手のために心を込めてお茶をたてることや、たててくださった方への感謝の気持ちをもつことの大切さである。日本の文化である茶道を経験することは、常に相手を意識するので、自己中心的な考えには

ならないのではないかと思う。これからも続けていきたい。

#### 準備その3 「いじめを許さないという強い意思をもつこと」

今、私のまわりでは、いじめはないと思う。でも、ささいな事がいじめにつながるということを道徳の時間に学習した。先日、どこかの中学校で、部活動の中でいじめが起こり、いじめられた生徒が自殺したというニュースをテレビで観た。歳も近くて、とてもショックだった。いじめは、人権を否定し、犯罪である。そのことを忘れず、いじめをしないことはもちろん、いじめを見て見ぬふりをするような人にはならないように強い心をもち続けたい。

#### 準備その4 「自己主張すること」

私は、自分の意見を主張することが苦手だ。他の人と異なる意見があっても、恥ずかしくて黙っている時がある。黙っていて、後悔することがよくある。犯罪を起こしたり、巻き込まれたりすることを防ぐためには、はっきりと「イヤ」という意思表示をすることが大事だと学習した。薬物乱用の恐ろしさについての話を聞いた時も、他の人に流されず、自分の正しいと思った意思に従う心の強さが大切だと学んだ。自分の意思をもつこと。そして、勇気をもって考えを主張する経験を増やしたいと思う。

#### 準備その5 「まわりに広げていくこと」

私が5年後、成人した時、いろいろな犯罪が減って、今よりもっと明るい社会になっていたらいいなと思う。そのために、私は努力していこうと思うが、私ひとりでは実現不可能だ。実現可能にするためには、友達や家族、地域の方々のみんなが意識して、力を合わせないといけないと思う。防犯意識を高めるための標語作りや、地域の方々とともに学習したり、家族や地域の方たちが一緒に活動し、交流できる場をつくったりすることが大事なのではないだろうか。さらに、今より多様性が認められる社会になって、いじめや差別のない、みんなが笑顔で安心して暮らせる社会にしていきたい。どんどん輪が広がるといいなと思う。

成人まで、あと5年。長いようで短い。今日からできることをやっいていこう。明るい未来を信じて……。